

事業評価シート

番号 1740090 - 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜公園再整備事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
総合計画政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	H26 年度～	R10 年度	根拠法令 関連計画※	社会資本総合整備計画	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜公園が有する歴史的な価値を伝えるとともに、憩い・学習・交流等の拠点となる本格的な歴史公園へと再整備をする。	
事業の内容	信長公居館跡整備、ガイダンス施設整備、公園区域の拡大、ファミリーゾーン整備、庭園整備ほか	
事業の対象	何を	岐阜公園再整備に必要な整備及び用地買収
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜公園
平成30年度 (実施内容)	岐阜公園再整備計画に位置付けているファミリーゾーンにおいて、御手洗池の改修を実施。また、公園区域の拡大に伴い、物件補償や用地取得の一部を実施。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	11,856	390	11,856	390	11,856	390
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,856	390	11,856	390	11,856	390

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託費	17,682	20,174	32,561
	用地・補償費	0	66,261	183,901
	工事費	288,696	189,113	120,110
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		306,378	275,548	350,751

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	318,234	287,404	362,607

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	122,047	115,550	122,790
県支出金			
市債	114,100	119,100	161,600
使用料・手数料			
その他			
計(F)	236,147	234,650	284,390

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	82,087	52,754	78,217

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	1,000,000	1,000,000	1,100,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	82	53	71

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	整備面積	単位	m ²
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	924	1,600	2,000
実績値	924	1,600	2,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	単位		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	観光を活性化し、にぎわいを創出するため必要 管理者である市が担うため必要
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	来園者の増加 民間活力の導入を検討
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	段階的な再整備による魅力的な施設の整備
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	適正
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜公園が有する歴史的資源を活かした本物志向の観光まちづくりを推進し「歴史文化市民公園」へ再整備を行うとともに、民間活力を生かした公園施設の効率的な整備・管理運営手法の見直しを行い、インバウンドを取り込んだにぎわいを創出するため、今後も継続して実施する。

事業評価シート

番号 1740090 _ 002

【1.基本情報】

事業名	「ぎふ・いざナビ」を活用したまちなか歩き支援事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
総合計画政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	H18 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	携帯電話とQRコードを活用した「ぎふ・いざナビ」や案内マップ「まちなか歩きガイド」により、まちなかを歩きを支援するための情報（観光・歴史・散策コースなど）を提供する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜市ケータイサイト「ぎふ・いざナビ」で、歴史文化・観光情報を発信 QRコードを、歩行者系サイン（案内板）やバス停時刻表、観光施設などに設置 折たたみ式のマップを印刷・配布（1万部） 				
事業の対象	何を	歴史文化、観光、散策コースの情報			
	誰に （対象者・対象者数）	市民及び観光客			
	どのくらい （具体的 数値で）	<ul style="list-style-type: none"> 「ぎふ・いざナビ」はコンテンツ数215 「まちなか歩きガイド」は1万部（A2版カラー両面刷り、ミウラ折り）作成、長良川右岸（長良地区）・岐阜公園周辺から加納地域までの中心市街地の情報を掲載 			
平成30年度 （実施内容）	<ul style="list-style-type: none"> 「ぎふ・いざナビ」で、市の歴史や観光などの情報を発信した。 「まちなか歩きガイド」を1万部作成し、公共施設などで配布した。 				

【3.支出（行政コスト）】

（1）人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,520	50	1,585	50	1,585	50
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,520	50	1,585	50	1,585	50

（2）物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,792	1,792	1,161
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	マップ印刷代	1,598	1,598	918
	いざナビ保守管理	194	194	243
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,792	1,792	1,161

（3）総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	3,312	3,377	2,746

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	240	220	110
計(F)	240	220	110

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	3,072	3,157	2,636

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	28,106	38,087	12,034
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	109	83	219

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	QRコードの貼付数	単位	か所
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	120	120	120
実績値	120	120	120

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	QRコードからのアクセス数	単位	件
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	8,106	18,087	2,034

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	QRコードからのアクセス数は年々増加している。 市民及び観光客がまちなか散策をするため、市の歴史文化、観光などの情報を提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	・「ぎふ・いざナビ」により市民及び観光客に必要な情報を提供するため、その環境を維持する保守管理が必要である。 ・マップは、ミウラ折りによりポケットサイズになるため、持ち歩きに適している。 システムをスマートフォンに対応させ、情報の多言語化など、市民や観光客がより「歩き」を楽しむことができる仕組みに発展させる必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	・QRコードからのアクセス数は年々増加している。 ・印刷した1万部のマップは、次年度の作成までにすべて配布している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者に負担はなく、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	市民や観光客に必要な観光名所の解説などの情報を提供している。今後はシステムをスマートフォンに対応させ、情報の多言語化など、市民や観光客がより「歩き」を楽しむことができる仕組みに発展させながら、今後も継続して実施する。

事業評価シート

番号 1740090 003

【1.基本情報】

事業名	まちなか歩き回廊推進事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
総合計画政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社 (公社)岐阜市シルバー人材センター	
実施期間	H19 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	まちなか歩き構想	

【2.事業概要】

事業の目的	まちなかを歩いて巡り、ゆったりとした時間を過ごし楽しむことのできる「まちなか歩き」を推進する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングイベントを実施 (金華地区における歴史をテーマとしたウォーキング) まちなか歩きの実態および促進状況を把握評価するための歩行者交通量調査を実施 (長良川右岸地区・金華地区・加納地区の平日及び休日) 				
事業の対象	何を	まちなか歩きのイベント			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	春と秋に実施(春は半日、秋は2日程度)			
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 春に「まちなか歴史ウォーク」を開催(5/19 岐阜公園～金華山山頂) 秋に「まちなか歴史クイズウォーク」を開催(11/17, 18 岐阜公園及び金華地区) 秋に歩行者交通量調査を実施(平日11/13、休日11/11) 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	608	20	634	20	1,216	40
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	608	20	634	20	1,216	40

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		4,498	4,434	2,636
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	イベント開催	3,778	3,947	2,144
	交通量調査	720	487	492
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		4,498	4,434	2,636

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	5,106	5,068	3,852

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	5,106	5,068	3,852

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	イベント参加者	イベント参加者	イベント参加者
受益者数	917	1,641	3,192
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,568	3,088	1,207

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント参加者	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	500	500	500
実績値	917	1,641	3,192

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	歩行者交通量(平日)	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	6,882	7,278	6,482

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市固有の歴史文化を活用したテーマ設定や内容とし、幅広い年齢層がまちなか歩きを楽しむことができるようにしている。 市民及び観光客にまちなか散策を楽しんでいただくため、市の歴史文化、観光などの情報を提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ウォーキングイベントの参加者は、年々増加している。 にぎわいまち公社が持つ、地域住民やまちづくり団体とのネットワークを活用し、地域に根差した内容のイベントを作成する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	ウォーキングイベントの参加者は、年々増加している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者に負担はなく、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善	ウォーキングイベントは参加者数が年々増加している。市固有の歴史文化の魅力を発信し、まちなかの回遊性向上を図り、にぎわいを創出するため、今後も継続して実施する。また、近年の事業実施状況に即し、歩行者交通量の調査箇所の見直しを行う。

事業評価シート

番号 1740090 004

【1.基本情報】

事業名	三輪の歴史文化散策構想実施事業				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
総合計画政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	H21 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	三輪の歴史文化散策構想	

【2.事業概要】

事業の目的	三輪地区の文化財及び歴史文化資産の価値を地域住民、市民及び来訪者に知っていただくため、それらを巡るための散策コースを設定し周知する。	
事業の内容	折たたみ式のマップを印刷・配布(1万部)	
事業の対象	何を	三輪地区の歴史文化の情報
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	マップは1万部(A2版カラー両面刷り、ミウラ折り)作成
平成30年度 (実施内容)	「三輪の歴史文化散策マップ」を印刷し配布した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	885	30	912	30	912	30
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	885	30	912	30	912	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		918	1,056	918
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	918	918	918
	案内板取替		138	
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		918	1,056	918

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,803	1,968	1,830

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	70	80	80
計(F)	70	80	80

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,733	1,888	1,750

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	10,000	10,000	10,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	173	189	175

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	散策マップ		冊
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	10,000	10,000	10,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	単位		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民および観光客に、「三輪の歴史文化散策構想」にある散策コースの情報を、マップ及び案内板により伝達している。 市民及び観光客が地域を散策するため、地域の歴史文化の情報を提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	印刷した1万部のマップは、次年度の作成までにすべて配布している。 マップは、地元の自治会連合会との協働で作成している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	印刷した1万部のマップは、次年度の作成までにすべて配布しており、三輪の歴史文化を広く発信できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者に負担はなく、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	地域住民との協働により策定した「三輪の歴史文化散策構想」に基づき、散策マップや案内板を作成している。今後は、スマートインターチェンジの開通もあるため、三輪地区の歴史文化及び散策コースの情報を継続して発信し、来訪者の増加を図る。

事業評価シート

番号 1740090 - 005

【1.基本情報】

事業名	ウォーキングコース整備・路面標示及び案内板				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
総合計画政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	H24 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	社会資本総合整備計画	

【2.事業概要】

事業の目的	目的地まで歩行者が歩きを楽しみながら移動する快適な歩行環境づくりを行う。	
事業の内容	主要導線及びウォーキングコースに路面標示及び案内板を設置する。	
事業の対象	何を	路面標示及び案内板
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	・路面標示:長良橋通り57枚、金華橋通り43枚、御鮎街道48枚 ・案内板:長良川ウォーキングコース2基
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示の点検清掃及び修繕 ・金華橋通りの路面標示のうち、拠点部の8枚を多言語化 ・御鮎街道に路面標示を新設(48枚) 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	148	5	152	5	2,128	70
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	148	5	152	5	2,128	70

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		245	738	2,296
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	設置			1,440
	点検清掃・修繕	245	376	487
	多言語化		362	369
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		245	738	2,296

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	393	890	4,424

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			720
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	720

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	393	890	3,704

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数			
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	路面標示	単位	枚
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	100	100	148
実績値	100	100	148

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	歩行者交通量	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	6,882	7,278	6,482

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歩行者に健康を意識しながら歩いてもらうため、距離や歩数、消費カロリーなどを表示している。 歩行者を鉄道駅から金華山周辺へ誘導するため、案内は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	歩行者交通量は、概ね目標に近い数値である。 市政モニターへのアンケートにより、ニーズがある路線に施工している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	「トイレの位置が分かって安心する」「施設の位置が分かる」などの意見を多くいただいている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者に負担はなく、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	観光客や市民に「まちなか歩き」を楽しんでいただくため、鉄道駅から岐阜公園及び長良川右岸までの動線上に路面標示を設置している。また昨年度より、近年増加している外国人観光客に対応するため、多言語化を順次進めており、今後も継続し、多言語化を推進する。

事業評価シート

番号 1740090 - 006

【1.基本情報】

事業名	歴史的風致維持向上計画検討業務				
担当部名	都市建設部	担当課名	歴史まちづくり課		
総合計画政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	H30 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	社会資本総合整備計画 岐阜市歴史的風致維持向上計画	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市歴史的風致維持向上計画の重点区域(金華・鶯飼屋区域)の良好な街なみの維持向上を推進する。	
事業の内容	街なみ環境整備事業方針の策定、歴史的風致形成建造物の指定等を行う。	
事業の対象	何を	歴史的な街なみ環境
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的 数値で)	歴史的な建造物の保全、快適な歩行環境の向上
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な建造物の現況把握調査 事業の費用対効果調査 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		2,128	70
嘱託職員	0		0		0	0
アルバイト	0		0		0	0
計(A)	0	0	0	0	2,128	70

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
				2,700
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託費			2,700
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	2,700

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	0	4,828

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	0	4,828

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者			市民及び観光客
受益者数			
受益者負担額(千円)			0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	アンケート調査回収数		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			250
実績値			383

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名			単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値			

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市固有の歴史資産を活かした本物志向の観光まちづくりを推進するために必要 計画に沿ったまちづくりの推進を市が担うため必要
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	観光客の増加 国庫補助の活用
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	アンケート調査において9割が「整備を行っていくべき」と回答
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	平成25年4月に国の認定を受けた「岐阜市歴史的風致維持向上計画」に基づき、金華・鶯飼屋区域が有する歴史資産を活かした整備を実施することにより、交流人口の増加、シビックプライドの醸成が見込まれるため、本事業を推進する。